

第 1 章

見直しの趣旨及び位置付け

- 1 はじめに ~ビジョン見直しの趣旨~
- 2 ビジョンの位置付け

第1章 見直しの趣旨及び位置付け

1 はじめに ～ビジョン見直しの趣旨～

本市の水道事業は、昭和6年に県内2番目の水道として給水を開始して以来、市民のみなさまの健康で快適な生活と産業活動を支えるライフラインとして、拡張事業と整備事業を推進し、現在では、普及率90.6%、約15万3千人の市民のみなさまに安全で安心な水道水を供給しています。

一方、下水道事業は、昭和11年に中心市街地に下水道を建設するための基礎調査に着手したのがはじまりとされ、終戦間もない昭和24年に事業認可を得て、富山県で最初の公共下水道事業として第一歩を踏み出しています。以来、処理区域の拡大を行いながら、特定環境保全公共下水道、都市下水路など様々な下水道事業に取り組むなかで、生活環境の向上と公共用水域の水質保全、雨水の浸水の防除に努め、現在では、普及率94.7%、約15万人9千人の市民のみなさまが下水道をご利用可能となっています。

近年、人口減少社会の到来等により水需要の減少による料金収入の減収、一方で高度経済成長期に建設した大量の上下水道施設が更新時期を迎えることや、大規模災害を踏まえた危機管理の根本的見直しなど、事業環境は厳しさを増していきます。

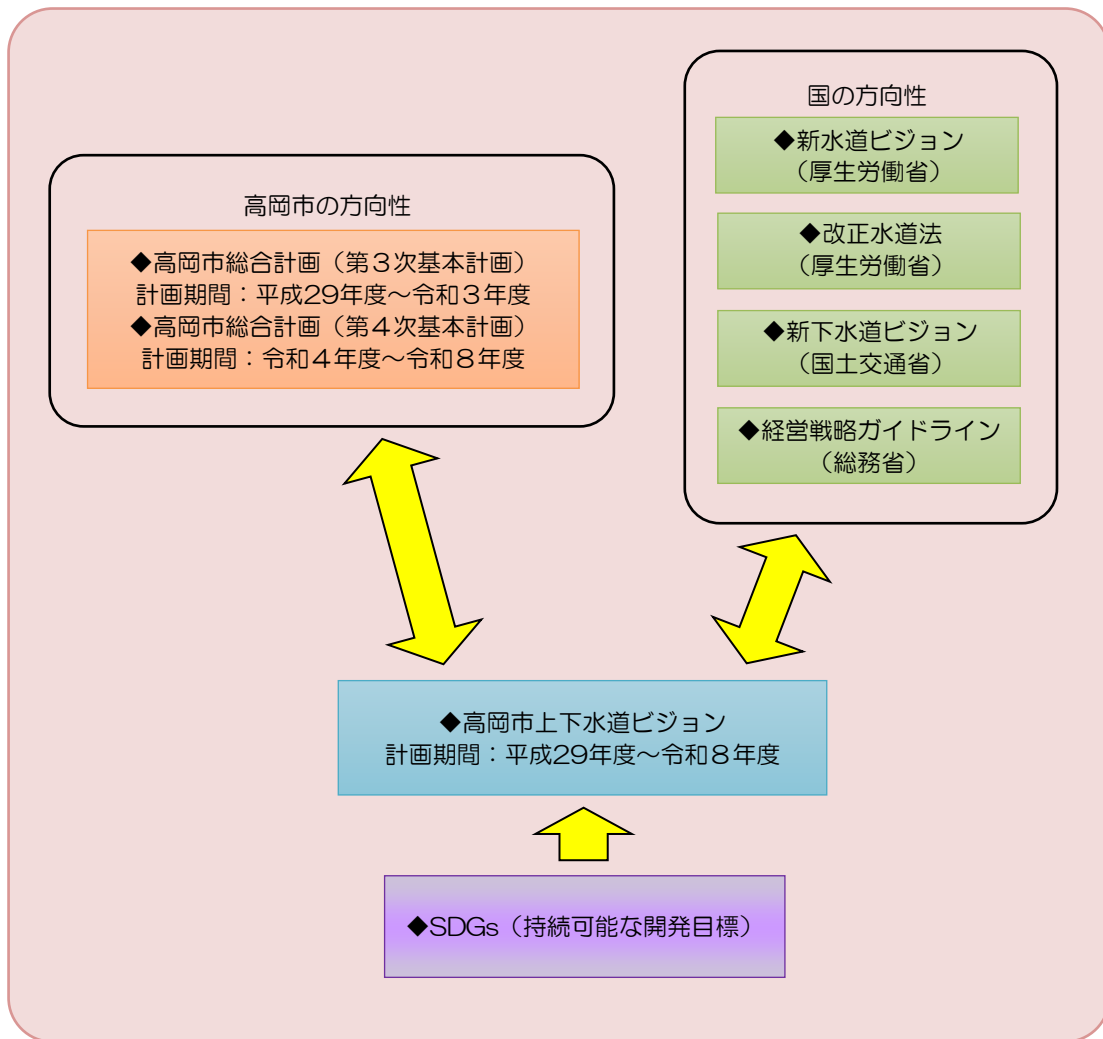
また、令和元年度に施行された改正水道法に示す「広域連携の推進」や「適切な資産管理の推進」、「官民連携の推進」などの水道の基盤強化に加え、SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現、さらには近年脅威を増す風水害等への対策強化など、上下水道事業を取り巻く事業環境は大きく変化してきています。

このような環境にあっても、蛇口をひねれば水が出る、水を流せば下水道が処理してくれるという「あたりまえ」を未来に継続し、「市民とともに 未来へつなぐ 信頼の上下水道」を基本理念に、「安全」「強靱」「持続」の3つのキーワードを基本方針に掲げ、これまで以上に市民のみなさまと地域の連携を深め、市民が誇りに思う高岡の上下水道を目指し、長期的視野に立った事業構想である高岡市上下水道ビジョンを策定しています。

計画期間の中間点を迎える令和3年度において、前期における各施策の取り組みの達成度や進捗状況の検証を行うとともに、上下水道事業を取り巻く事業環境の変化を踏まえ、後期で取り組むべき施策について追加・変更を行い、将来にわたり安定した事業運営を目指す基本的な指針として、「高岡市上下水道ビジョン」を見直すものです。

2 ビジョンの位置付け

ビジョンは、高岡市のまちづくりの基本指針である「高岡市総合計画」の分野別計画の一つとして、国が策定した「新水道ビジョン」及び「新下水道ビジョン」との整合性を図るとともに、経営の基本戦略である「経営戦略」として策定し、本市上下水道事業の最上位計画に位置付けられています。また、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指す内容となっています。



【ビジョンの位置付け】

